

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】令和2年4月23日(2020.4.23)

【公開番号】特開2019-74250(P2019-74250A)

【公開日】令和1年5月16日(2019.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2019-018

【出願番号】特願2017-200416(P2017-200416)

【国際特許分類】

F 2 5 B	1/00	(2006.01)
F 2 5 B	27/02	(2006.01)
F 2 5 B	49/02	(2006.01)
F 2 5 B	1/10	(2006.01)
F 2 5 B	13/00	(2006.01)

【F I】

F 2 5 B	1/00	3 1 1 B
F 2 5 B	1/00	3 2 1 B
F 2 5 B	27/02	Z
F 2 5 B	1/00	1 0 1 E
F 2 5 B	49/02	5 2 0 F
F 2 5 B	1/00	3 0 4 Z
F 2 5 B	1/10	E
F 2 5 B	1/10	Q
F 2 5 B	13/00	N
F 2 5 B	13/00	3 1 1
F 2 5 B	13/00	1 0 4

【手続補正書】

【提出日】令和2年3月12日(2020.3.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

冷媒を圧縮する圧縮機(11、211、311、511)と、

前記圧縮機から吐き出された前記冷媒と室内空気とを熱交換させる熱交換器(12、412)と、

前記熱交換器を出した前記冷媒を気相と液相とに分離する気液分離器(17)と、

前記気液分離器を出した液相の前記冷媒と室外空気とを熱交換させる室外熱交換器(15)と、

前記圧縮機と前記熱交換器と前記気液分離器と前記室外熱交換器とを接続して前記冷媒を流す流路をなすメイン回路(10)と、

熱を排出する熱源と前記気液分離器で分離された液相の前記冷媒とを熱交換させる排熱回収熱交換器(31)と、

前記気液分離器から液相の前記冷媒が出し、前記室外熱交換器を経由させずに前記排熱回収熱交換器を経由させて前記圧縮機に至る流路をなす排熱回路(30)と、

前記排熱回路において前記排熱回収熱交換器よりも上流に設けられて、前記排熱回収熱交換器において液相から気相になるように前記冷媒を膨張させる膨張弁(32、532)と、

前記排熱回収回路に設けられて、前記排熱回収回路において液相冷媒を流すか否かを制御する排熱回収開閉弁（33）とを備えているヒートポンプサイクル。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

ここに開示されたヒートポンプサイクルは、冷媒を圧縮する圧縮機（11、211、311、511）と、圧縮機から吐き出された冷媒と室内空気とを熱交換させる熱交換器（12、412）と、熱交換器を流出した冷媒を気相と液相とに分離する気液分離器（17）と、気液分離器を流出した冷媒と室外空気とを熱交換させる室外熱交換器（15）と、圧縮機と熱交換器と気液分離器と室外熱交換器とを接続して冷媒を流す流路をなすメイン回路（10）と、熱を排出する熱源と気液分離器で分離された液相の冷媒とを熱交換させる排熱回収熱交換器（31）と、気液分離器から液相の冷媒が流出し、室外熱交換器を経由させずに排熱回収熱交換器を経由させて圧縮機に至る流路をなす排熱回路（30）と、排熱回路において排熱回収熱交換器よりも上流に設けられて、排熱回収熱交換器において液相から気相になるように冷媒を膨張させる膨張弁（32、532）と、排熱回路に設けられて、排熱回路において液相冷媒を流すか否かを制御する排熱回収開閉弁（33）とを備えている。